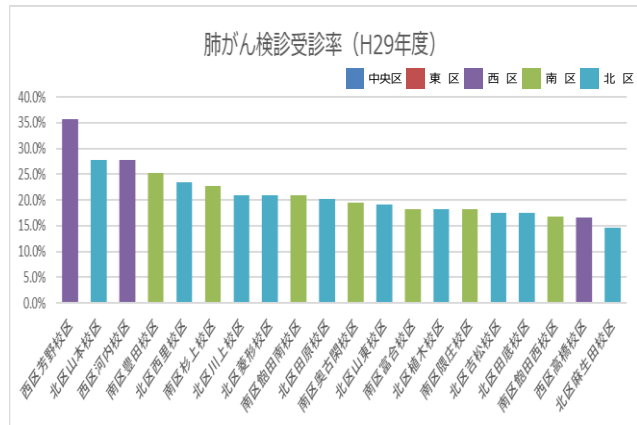
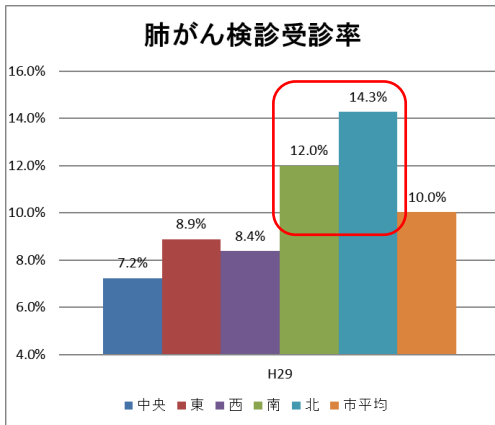


平成29年度がん検診受診率各区比較

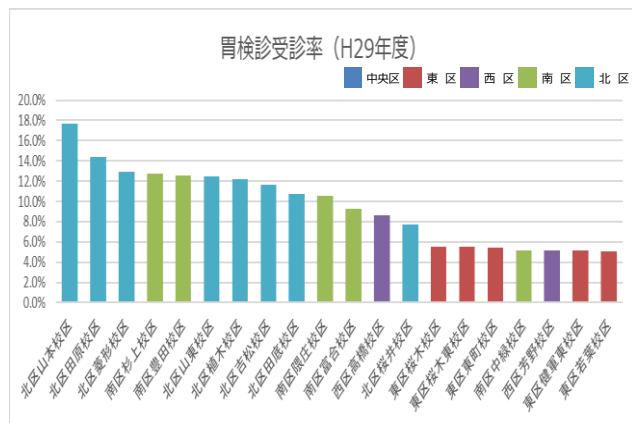
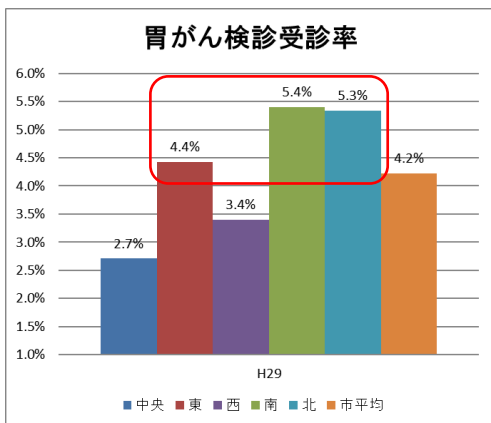
○肺がん検診受診率（集団のみで実施）

各区の肺がん検診受診率を比較すると、北区が4.3%、南区が2%と市平均よりも大幅に高い。
また、校区別に比較すると、上位20校区中、北区が10校区、南区が7校区を占めている。さらに11校区が旧町（城南・富合・植木）となっており、旧町時代から集団検診を実施しており、受診率が高い校区が行政区全体の受診率を引き上げているのではないかとと思われる。



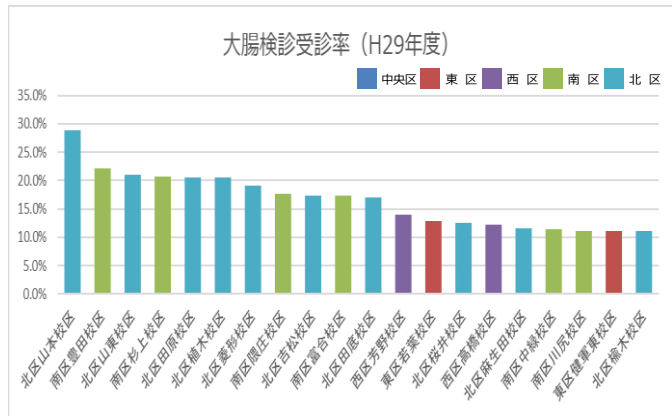
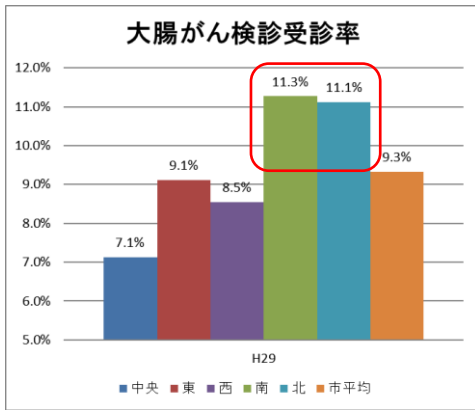
○胃がん検診受診率（集団のみで実施）

各区の胃がん検診受診率を比較すると、北区、南区が市平均より1%程高く、東区も0.2%上回っている。
また、校区別に比較すると、上位20校区中、北区が8校区、南区が5校区、東区が5校区となっている。さらに12校区が旧町（城南・富合・植木）となっており、肺がんと同じく集団検診が、受診率を引き上げているのではないかとと思われる。



○大腸がん検診受診率（集団 52%、個別 48%で実施）

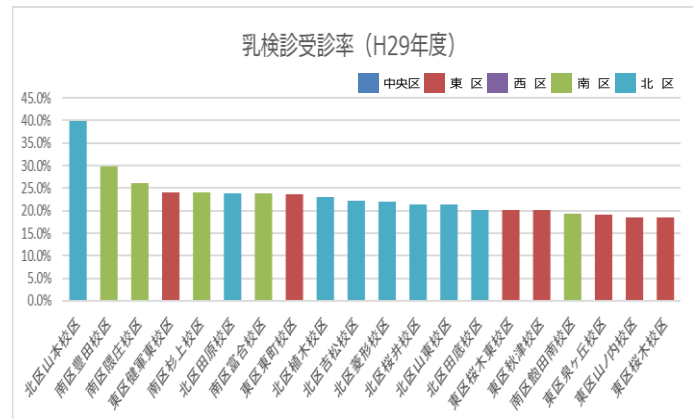
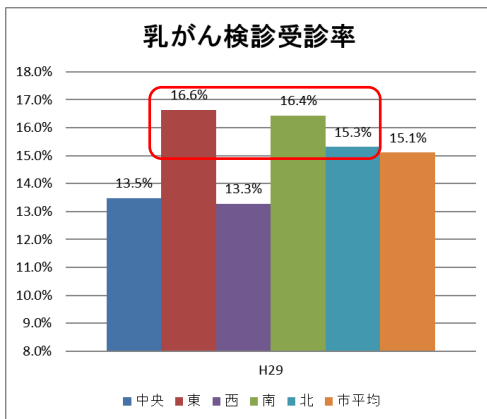
大腸がん検診受診率を比較すると、北区、南区が市平均より2%程高くなっている。
 また、校区別に比較すると、上位20校区中、北区が10校区、南区が6校区を占めている。
 さらに11校区が旧町（城南・富合・植木）となっており、胃がん・肺がん検診と同じく集団検診が行政区全体の受診率を引き上げているのではないかとと思われる。



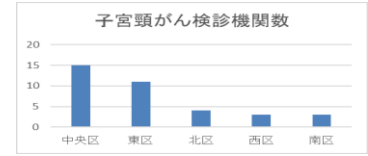
○乳がん検診受診率（集団 13%、個別 87%で実施）



乳がん検診受診率を比較すると、市平均より東区が1.5%、南区が1.3%高く、北区は0.2%高い。
 また、校区別に比較すると、上位20校区中、東区が7校区、南区が5校区、北区が8校区を占めている。その他11校区が旧町（城南・富合・植木）となっているものの、集団検診13%、個別検診87%と大幅に個別検診の割合が高いため、胃・肺・大腸の3がんと異なり、集団健診の影響が少ないのではないかとと思われる。
 また、1か所で乳房X線検査と視触診検査が一括して行えるA方式機関が比較的多い東区が多い。



○子宮頸がん検診受診率（集団 8%、個別 92%で実施）



子宮頸がん検診受診率を比較すると、市平均より南区が6%、東区が0.2%高い。
 また、校区別に比較すると、上位20校区中、南区が15校区、北区が4校区と同じになっている。
 その他のがん検診と異なり旧町（城南・富合・植木）は3校区のみとなっており、さらに集団検診8%、個別検診92%と大幅に個別検診の割合が高い状況。検診機関数は西区とともに南区は市内で一番少なく、検診機関数の影響は考えられない。
 南区でも特に受診率が多い校区は、10位以内に入っている力合、日吉東、隈庄、富合、田迎西、飽田南、飽田東校区。南区の受診率が高い要因は不明であるため、今後考察を行ってきたい。

